

(別紙4(2))

事業所名グループホーム実夢大覚寺

## 目標達成計画

作成日：令和6年 2月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		施設では家族向けに年2～3回通信を出しているが、アンケートの中で 本人に会って話をする機会が少ない 本人の様子や活動を報告する頻度を増やしてほしいとの要望があった。本人の様子や施設での活動報告を増やしたい。	2カ月に1回、利用者一人ひとり個別に施設内での様子や活動の様子 及びお小遣い残高を記載した通信を作成し送付する	利用者の日々の様子や活動報告ができるように居室担当の職員が個別の通信を作成する簡単に通信が作成できるように あらかじめフォーマットを作成しておく(担当松本)	2ヶ月
2		近隣のコンビニや美容院への外出支援等はおこなっているが 遠距離での外出についてはコロナ禍もあり自生していた、今後については花見等1日かけて外出ができる支援をしていきたい。	ご家族も参加して年に3回花見等季節を感じてもらえる外出を計画する	まずはご家族の協力のもと施設内でのおやつ作り等イベントに参加してもらい 外出のへの参加や協力を仰ぐ。計画の立案、実行については副主任を中心に職員主体とする	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。